

『ラショナル』 課題解決講座

創造の時代！ リーダーを救う“心の保険”

意思決定効率を**10%Up**できる思考技術



株式会社C S I 総合研究所
代表取締役 大高英則

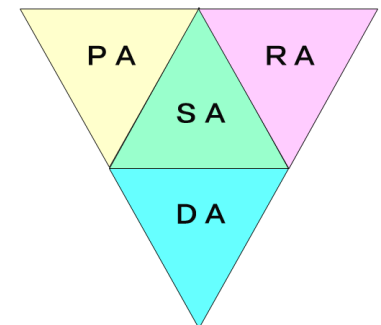
(略歴)

財団法人 公営事業電子計算センター（都庁電算センター）

国土交通省認可 日本木造住宅振興事業協同組合 上席顧問

一般社団法人 建設雇用促進高度職業訓練アカデミー 代表理事

ラショナル4プロセス



①現状把握

- ▮ 『あるべき姿』 と 『現実』 との差（問題）の明確化

②原因究明

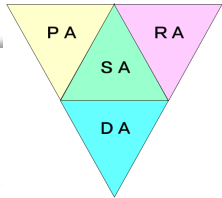
- ▮ 『発生事象（問題有）』 と 『比較対象（問題無）』
- ▮ 3 W 1 H の変化と特異点の抽出
- ▮ 推定原因 ▮ 検証 ▮ 有力原因
- ▮ 対策（暫定対応、本格対応、再発防止策）

③意思決定

- ▣ 『期待成果』 と 『制約条件』
- ▣ 定量的な絶対条件、定性的な相対条件、経験で評価
- ▣ 選択、策定（マイナス要因と対策）

④リスク分析

- ▣ 『実行計画』 から 『重要領域』 を抽出
- ▣ 将来問題の予防策と発生時対策を策定
- ▣ 発生確率と影響度で切り分け

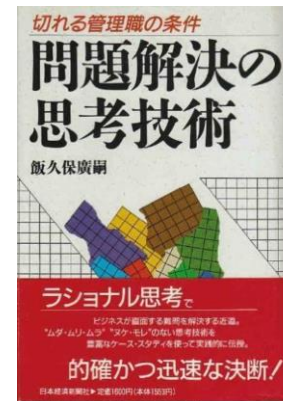
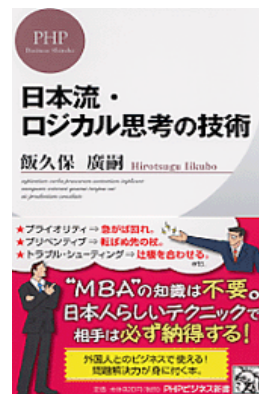


『ラショナル』 思考の経緯

NASAシンクタンクの**ケブナー博士**が開発された思考技術。（4P）

国内では、**飯久保博嗣氏**が、官僚や大手企業の経営者や管理職に指導。

中小企業向け研修として、飯久保氏と大高との間でライセンス契約を締結。



『ラショナル』 課題解決講座

W 飯久保廣嗣 - Wikipedia

ja.wikipedia.org/wiki/飯久保廣嗣

ウィキペディア
フリー百科事典

Wikipedia内を検索

アカウント作成 ログイン

飯久保廣嗣

ページ ノート 閲覧 編集 履歴表示 ツール

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

飯久保 廣嗣（いいくぼ ひろつぐ、1934年 - ）は、日本における思考技術（Conceptual Skill）分野に関するマネジメントコンサルタント、起業家。米国デポー大学終身理事。学校法人青山学院名誉理事。キリスト教プロテスタント教会の信者である。

人物

1934年、東京生まれ。青山学院中・高等部を経て、1957年米国インディアナ州デポー大学（DePauw University）卒^{[1][2]}。1972年ケプナートリゴ（日本）代表取締役社長^[1]。1982年（1984年とする記述もある^[2]）ケプナー博士とEM法を開発した^[1]。主要約70社に問題解決・意思決定技法を指導。1994年から8年間にわたり人事院が主催する各省庁の係長、課長補佐研修の講師を務めた。2001年、日米民間外交A50事業を実施した。『問題解決の思考技術』、『質問力』等17冊の著書がある。名誉人文学博士（米国デポー大学）^[1]。米国デポー大学終身理事^[1]。青山学院名誉理事^[2]。

講道館創設者である嘉納治五郎が起倒流柔術を学んだ飯久保恒年は曾祖父にあたる。

経歴

学歴



飯久保廣嗣

@iikubodecision

米デポー大学終身理事。青山学院名誉理事。KT（日本）初代代表取締役。論理的思考技術を紹介。1982年ケプナー博士とデジションシステムを設立。ホンダ、JR東日本、ソニー、日立等70社を指導。各省庁係長、課長補佐研修講師を8年。A 50 対米民間外交を実施。著書多数。 [youtube.com/channel/UCfAQI...](https://www.youtube.com/channel/UCfAQI...)

コミュニティ TOKYO JAPAN

2022年4月からTwitterを利用しています

16 フォロー中 23 フォロワー

ツイート 返信 メディア いいね



飯久保廣嗣 @iikubodecision · 15 時間

広島 G7 で「広島ピース・パワー（Peace-Power）条約—HPT」を提案する。AIで世界の対立が殺戮（戦争）にならない予防策をリアルタイムで構築する。膨大な開発・運営費は批准国の国防費から捻出。条約策定は世界の大学連合（含む中国）が担当。軍拡への警鐘と憲法9条の精神を生かす日本の存在感を示す。

2 39



飯久保廣嗣 @iikubodecision · 2 日

リスク・マネジメント
と思考工程

思考技術(コンセプチュアルスキル) [Vol.116]

7:52

Session 116 リスク・マネジメントと思考工程 «思考技術(コンセプチュアルスキル)» [飯久保廣嗣]

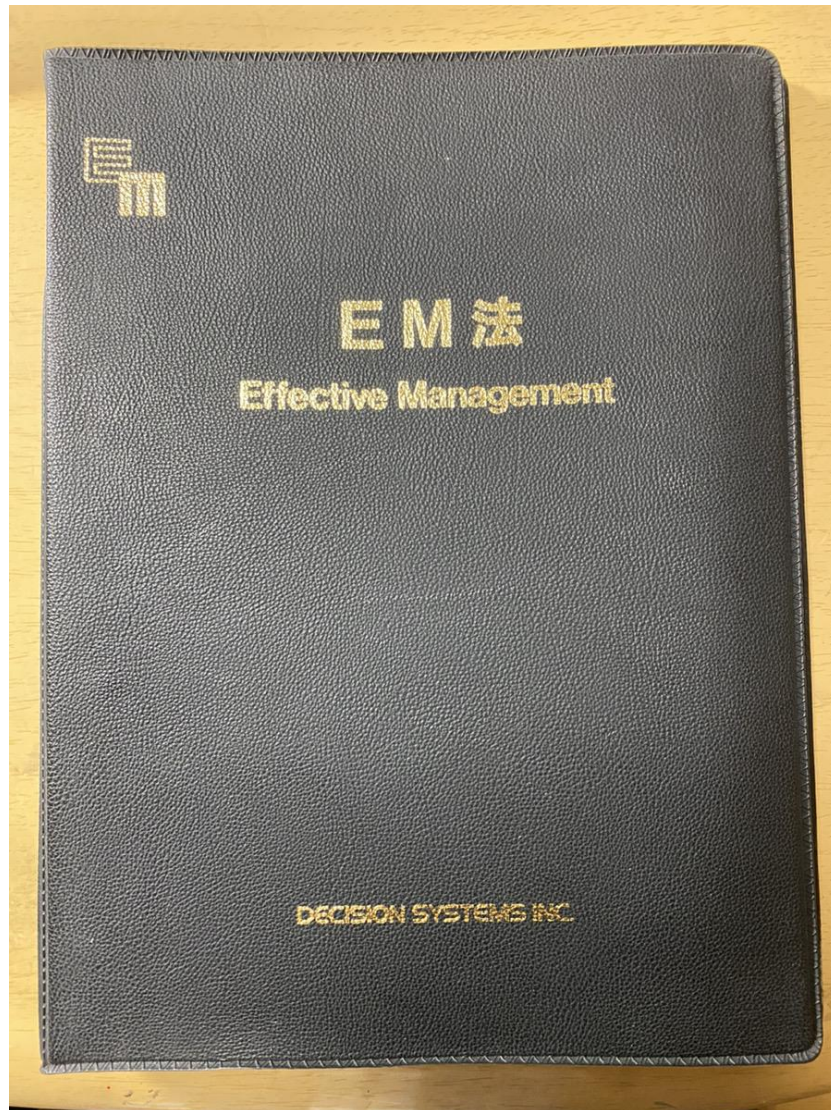
48 回視聴・3 か月前



コンセプチュアル・スキル

「リスク」に対して事前にどのような対策を考えておくか、無駄の少ない思考工程について解説します。飯久保廣嗣（いいくぼ ...

『ラショナル』 課題解決講座



TOLAP

Score Report (受験者用)

氏名	HIDENORI OOTAKA	会社名	System Design Acty
受験番号	19610627	部門	Information Systems

あなたのTOLAPテストの試験結果は、下記のとおりです。
標準化スコアとパーセンタイルが示されています。

指標	標準化スコア (1)	パーセンタイル (2)
状況分析力 (SA)	75	-
原因分析力 (PA)	61	-
意思決定力 (DA)	78	-
リスク分析力 (RA)	49	-
Total	70	91

(1) 標準化スコアとは、各設問に対する正答数をもとに、受験者の平均点を50としてスコアの分布が0から100になるように統計的に変換されたスコアをいいます。
(2) パーセンタイルとは、受験者全体の中で、標準化スコアより低いスコアの受験者のパーセントを示しています。

例えば、パーセンタイル40は、全体の受験者を100人換算にした場合、順位が上位から60番目であることを示し、パーセンタイル80は上位から20番目であることを示しています。
注：各指標の標準化スコアは、指標ごとに統計的な変換が行われているため、各指標の平均が必ずしも全体の標準化スコアになるとは限りません。

指標ごとのスコア

指標	スコア
SA	75
PA	61
DA	78
RA	49
Total	70

コメント

	総受験者中のポジション	今後のスキルアップの目標
状況分析力 (SA)	4th Quartile	高レベルの分析力を維持してください
原因分析力 (PA)	3rd Quartile	4th Quartileを目指してください
意思決定力 (DA)	4th Quartile	高レベルの分析力を維持してください
リスク分析力 (RA)	2nd Quartile	3rd Quartileを目指してください
総合論理思考力	4th Quartile	高レベルの分析力を維持してください

(*) 総受験者を4分割した相対位置を示します。
1st Quartileとは、当該受験者の標準化スコアが総受験者の中で、下位25%の中に入っていることを示します。同様に2nd Quartileは、下位から26～50%に、3rd Quartileは、51～75%に、4th Quartileは、トップ25%に入っていることを示します。

Scanned Date: 12/10/2003

現

過去：原因究明と対策

原因究明

状

現在：複数選択肢からの選定、策定

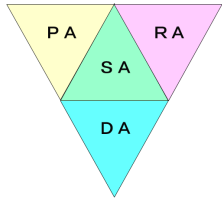
意思決定

把

将来：予防対策と発生時対策

握

リスク分析



4つの思考技術！

① 『現状把握(SA)』

直面する課題を明確にし、優先順位を設定する。

② 『原因究明(PA)』

過去の現象や問題の原因を究明する。

③ 『意思決定(DA)』

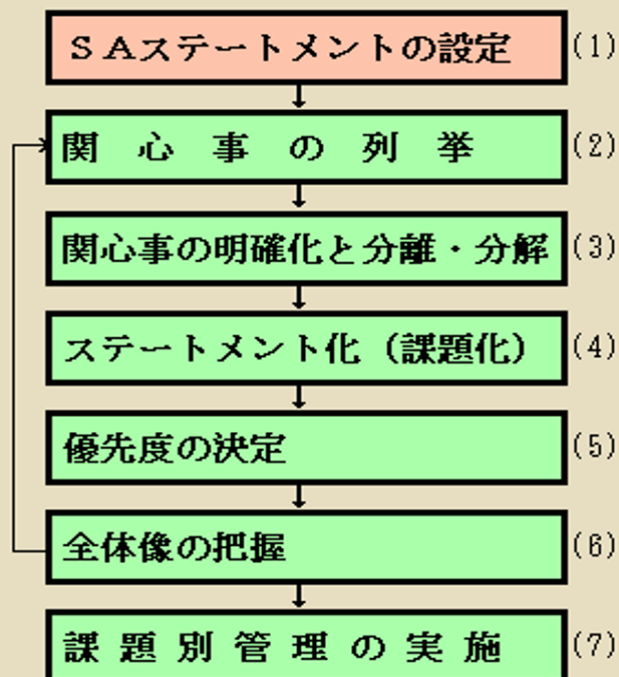
目的に対して選択肢を選定、又は策定する。

④ 『リスク分析(RA)』

起こりえるまずい現象への対応策を予め策定する。

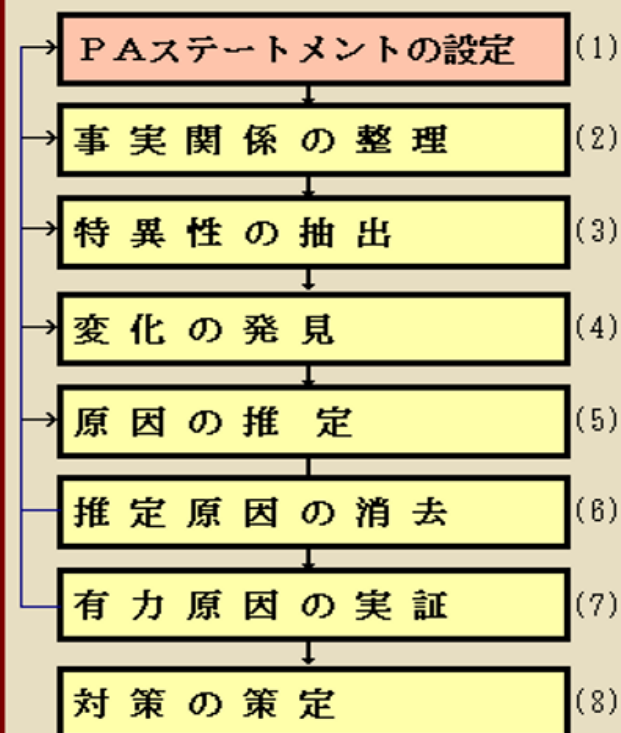
『現状把握』

SAフローチャート



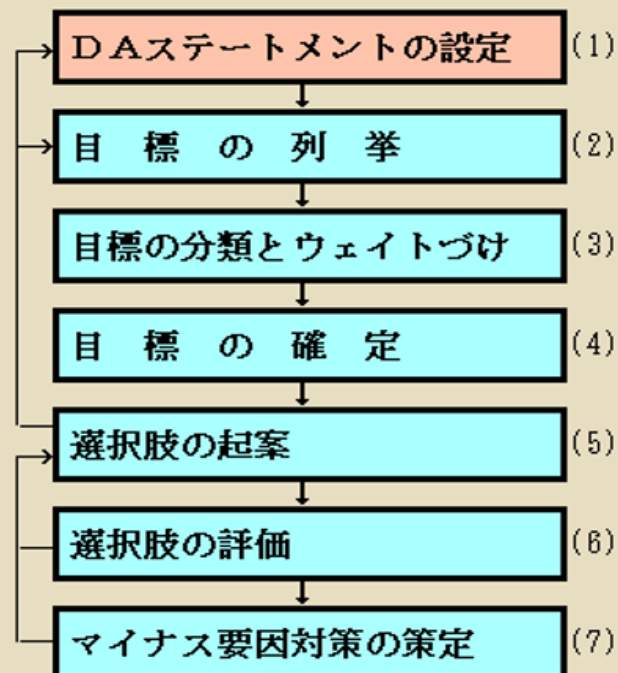
『原因究明』

PAフローチャート



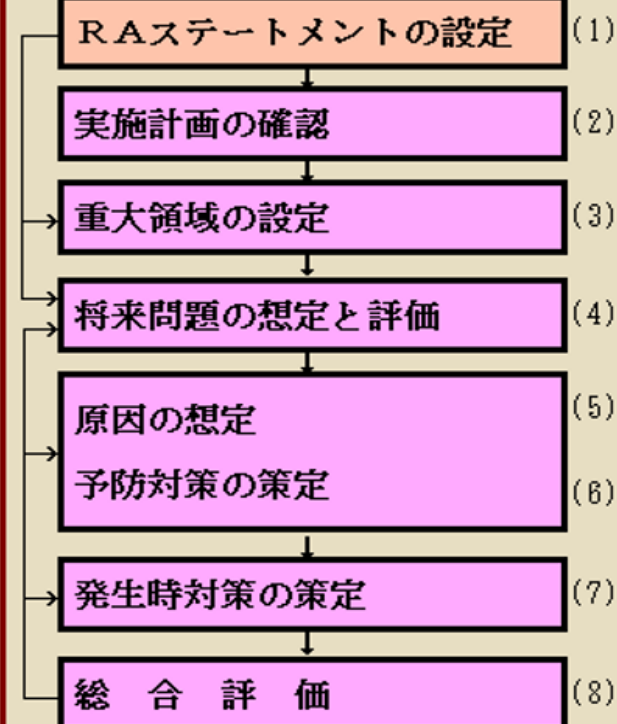
『意思決定』

DAフローチャート

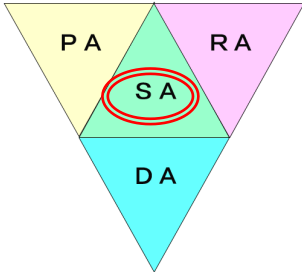


『リスク分析』

RAフローチャート

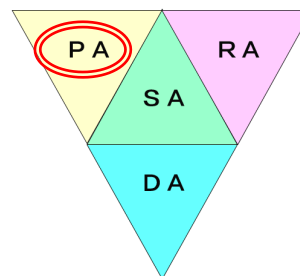


『ラショナル』 課題解決講座

[illegible]

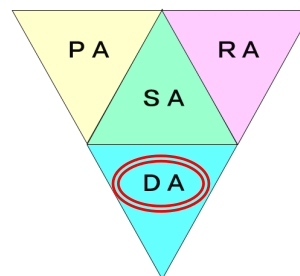
『ラショナル』 課題解決講座

PA課題	Aセミナー集客減少の原因究明と今後の対策策定				
	【Msg01】対象（～の）/問題現象（～不良の）/行為（原因究明）で表現する。				
事実関係	発生事象	比較対象	差異/特異性の変化		備考
何が : 対象	Aセミナー	Aセミナー	-		
: 問題	集客数の減少	集客数は目標値達成	-		
どこで : 場所	東京会場	仙台会場	東京：全国参加 仙台：東北参加		
: 対象		-	-		
いつから : 日時	2016年4月～	～2016年3月	①新規FCからの集客減少 ②講師の変更		②目的：営業行程全般の提案を 3講師連携で実現
: 場合		-	-		
どの程度 : 数量	5組/月	10組/月	-		
: 傾向	減少傾向は継続	-	-		
採否	推定原因/有力原因	消去理由	対策	期日	備考
採用	チラシの新規性がない	-	新テーマ、動画案内の追加	2016. 08. 31	
採用	新規FC等団体からの集客がない	-	新規FC、団体、コンサルネット開拓	2016. 08. 31	
不採用	セミナー講師変更：講師スキル低下	新講師のアンケート評価は良い	-	2016. 08. 31	3講師の専門が注目テーマで好評
採用	セミナー講師変更：2/3可変●固定	-	課題整理を追加しリピートを強化	2018. 12. 31	方針：3講師継続。営業行程網羅の為



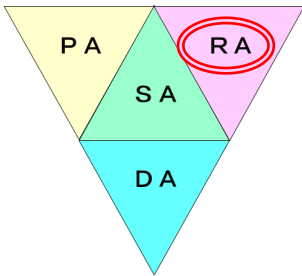
『ラショナル』 課題解決講座

DA 課題	来期の安定売上の為のストックビジネス策定										
	【Msg02】判断条件として、絶対目標を数値で入力する										
区分	項目	重み	案1：アニメ動画（FP編）発売	評価	合計	会員制クラブ	評価	合計	案3：Web講座（CW）	評価	合計
絶対目標	売上100万円/月以上		200万円/月			100万円/月			60万円/月		
	経費300万円以内		300万円			50万円			100万円		
	4カ月後稼働		3ヶ月			2ヶ月			4ヶ月		
相対目標	売上が高い	10		10	100		5	50		2	20
	経費が少ない	8		5	40		10	80		8	64
	早期に稼働できる	6		8	48		10	60		5	30
	売上目標の早期達成	4	FC、過去研修先への案内で早い	10	40	研修後加入で遅い	3	12	実施回数制限で遅い	5	20
	解約がなく、継続性が高い	2	集客効果で継続の期待あり	8	16	研修フォロー効果で継続の期待あり	10	20	遠隔コースあり	3	6
	—		—		0	—		0	—		0
					244			222			140
	採用案		マイナス要因	発生	影響	対策					
	「案1」を採用		稼働後2ヶ月の売上目標未達	M	H	アンケート実施後原因究明と対策策定					
			通信障害で動画放映ができない	L	M	障害マニュアルに従い対策実施					
			他社が類似商品を販売する	M	H	ビジネスモデル登録					



『ラショナル』 課題解決講座

RA課題	アニメ動画（FP編）の発売に関するリスク分析							
【Msg01】分析対象（～の）/範囲（～に関する）/行為（リスク分析）で表現する。								
項番	将来問題	発生	影響	発生確率を下げる対策		影響度を下げる対策	備考	重大領域
1	目標申込数未達	M	H	①事前アンケート、キャンペーン実施		②FC等団体への提案準備		発売2ヶ月後 (2018.6発売予定) 実行計画 ①基本計画　：～2017.1.15 ②セリフ作成　：～2017.1.31 ③動画作成　：～2017.2.14 ④検証　　：～2017.3.15 ⑤発売　　：2018.6.1
項番	将来問題（詳細分析）	発生	影響	想定原因	寄与	予防対策	発生時対策	発動条件・解除条件
2	翌週資金相談への集客が少ない	H	H	見学会の動画放映環境が悪い 資金相談のチラシが見づらい	H M	③マニュアル作成&設置指導 ④共通チラシを準備して配布	⑤個別対応マニュアルの事前作成 ⑥成功チラシ収集と提供	見学会終了後/目標達成後 同上
3	通信等環境面の障害発生	H	H	Wifi（無線）電波が弱い	H	⑦現場の事前検証	⑧有線事前許可、買取提案	発生時即、退却時



『ラショナル』 課題解決講座

■課題整理表

【実績欄】●:完了 ○:着手 △:未着手

2018.04.23

項番	実績	分類	主担当	発生	期日	課 題	対 策	備 考
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								

オンライン研修カリキュラム

■ 研修内容

- ① ラショナル思考技術の概要
- ② 4つの分析の解説
- ③ 課題解決表の事例解説
- ④ 課題解決表の演習



■ 費用 33,000円(税込)/人

■ 時間 13:00～17:00

